

「14ひきのかぼちゃ」

R7.12.1

3冊目となる絵本『14 ひきのかぼちゃ』。1 ページ目のセリフはすっかり覚え、みんなで声を揃え大きな声で読み上げています。繰り返し見ていると「“いのちのつぶ”（種）どこ？」「なんで絆創膏貼ってるの？」などいろいろなことに気づきます。また他のシリーズの絵本も見えていくうちに、「ここにもカエルいた」「くんちゃん、ここではお人形おんぶしてて、こっちでは抱っこしてる」などの声も聞かれるようになりました。

カボチャの収穫は終わっていたものの、まだ本物のカボチャがあったので実際に触って「重い」「硬い」と切って断面をチェックしました。裏表紙にも断面の絵があるので見比べたり、思わず手を伸ばして触ったり種を取り出し始めます。



種いっぱい
入ってる！

柿みたいな
においする

フワフワしてて、
モチモチ
でも種はツルツル

種を取り出してみると、何個かくっついていてことに気づきます。そしてどうにかバラバラにしようと思いますが、ヌルヌルしていてなかなかバラバラになりません。そこで一度洗ってみることにしました。



種、なんか
ベタベタする

たねをあらってみよう！

直接水をかけると流されそうになり、「やばい」とすぐ中断。しばらく「どうやって洗おうか？」と考えます。さくらぐみが米とぎの経験をしていることから、同じようにボールやザルを使って洗ってみます。でもいくら洗ってもなかなかヌルヌルは取れませんでした。そこでとりあえず乾かすことにします。



たねをかぞえてみよう！

乾かした種を触ってみると「柔らかいのと硬いのがある」との声。そして「何個あるんだろう？」という声もあったので、実際に数えてみることにしました。

4、5人に分かれて数え、「ぼくは58個」「私は72個」などと最後に合計を出す方法でやってみても292個、305個とその都度違い、数が多いのもうギブアップという感じでした。



もうわけ
わかんない！

カボチャの実はホットプレートで焼いて
食べました！
中には「かぼちゃん食べたらかわいそう」
という子もいましたよ。

ちなみに…

「種の中はどうなってるんだろう？」という声もあり、実際にハサミで切ってみました。すると「なんか黒いの入ってる」と穴が開いているような感じで、大人でも知らないことがいっぱいでした。

絵本のように“いのちのつぶ”を撒いたら、おいしいカボチャができるかな？

